

2019 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	言語学Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	後期 水4	教室名	603
担 当 教 員	野口雅司	実務経験と その関連資格	大学で日本語教育に従事			
《授業科目における学習内容》						
各回で各分野の概論を学んだ後、練習問題および国家試験の過去問題により習得の確認を行う。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験(60%)・小テスト(30%)・課題(10%)を基準として評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
プリントを適宜配布する。参考図書:『言語学入門-これから始める人のための入門書』						
《授業外における学習方法》						
復習課題とレジュメを確認すること。						
《履修に当たっての留意点》						
配布するプリントは国家試験対策に配慮してあるので、試験前の総復習等にも積極的に活用してほしい。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	言語学Ⅰの確認と言語学Ⅱの概要の理解する。	プリント		復習課題:レジュメを確認する。
		各コマにおける授業予定	言語学Ⅰの復習と言語学Ⅱの概要について。			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	単語レベルの意味特性について理解する。	プリント		復習課題:レジュメを確認する。
		各コマにおける授業予定	意味論(1)について。			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	単語の結びつきや統語環境による意味の変化について理解する。	プリント		復習課題:レジュメを確認する。
		各コマにおける授業予定	意味論(2)について。			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	意味論と語用論の違いについて説明できる。	プリント		復習課題:レジュメを確認する。
		各コマにおける授業予定	語用論(1)について。			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	語用論における諸理論について習得する。	プリント		復習課題:レジュメを確認する。
		各コマにおける授業予定	語用論(2)について。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	概観と方法論を理解する。	プリント	復習課題:レジユメを確認する。
		各コマにおける授業予定	談話分析(1)について。 小テスト		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	概観と方法論を理解する。	プリント	復習課題:レジユメを確認する。
		各コマにおける授業予定	談話分析(2)について。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	ヴォイスの意味とその役割について理解する。	プリント	復習課題:レジユメを確認する。
		各コマにおける授業予定	ヴォイス(1)について。		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	ヴォイスの意味とその役割について理解する。	プリント	復習課題:レジユメを確認する。
		各コマにおける授業予定	ヴォイス(2)について。		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	日本語の文法特性について理解する。	プリント	復習課題:レジユメを確認する。
		各コマにおける授業予定	日本語の特性(1)について。 小テスト		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	日本語の文法特性について理解する。	プリント	復習課題:レジユメを確認する。
		各コマにおける授業予定	日本語の特性(2)について。		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	日本語の文法特性について理解する。	プリント	復習課題:レジユメを確認する。
		各コマにおける授業予定	日本語の特性(3)について。		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	日本語の表現特性について理解する。	プリント	復習課題:レジユメを確認する。
		各コマにおける授業予定	日本語の特性(4)について。		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	日本語の表現特性について理解する。	プリント	復習課題:レジユメを確認する。
		各コマにおける授業予定	日本語の特性(5)について。		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	今期習得した項目について説明できる。	プリント	復習課題:レジユメを確認する。
		各コマにおける授業予定	まとめ 小テスト		